|  |  |
| --- | --- |
| 令和6年度（2024年度）用 | 小学校国語科書写用 |

|  |
| --- |
| 「新編 新しい書写」  **年間指導計画作成資料**  **【２年】** |

令和6年（2024年）1月版

※単元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新編　新しい しょしゃ 二」（第２学年）年間指導計画

| 月 | 単元名  学習指導要領との対応  他教科との関連 | 単元の目標 | 時数 | 学習活動  【書写のかぎ】 | 観点別評価規準 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 4 | ●おかしなかんばん  ●しょしゃの学び方  ・文字を書くしせい  ・書きやすいもち方  表紙裏～p.7  ◎〔知識及び技能〕⑶ウ(ア)  【用具】鉛筆 | ○１年間の学習を見通し、書写の学習の進め方を理解することができる。  ○書きやすい姿勢や鉛筆の持ち方を理解して書くことができる。 | 3 | ①１年間の学習の流れを見通す。  ②書写の学習の進め方を理解する。  ③書くときの姿勢や鉛筆の持ち方を見直し、書きやすい姿勢・鉛筆の持ち方を改めて理解する。  【姿勢・持ち方】  ④姿勢・鉛筆の持ち方について、自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○書きやすい姿勢と鉛筆の持ち方を理解して書いている。  ［思・判・表］  ○自分の姿勢や鉛筆の持ち方を見直し、よい点や改善すべき点を考えている。  ［主］  ○１年間の学習を見通し、書写の学習の進め方を知って、積極的に学習に取り組もうとしている。 |
| 5 | ◯「止め」「はね」「はらい」と「おれ」「まがり」  p.8～9  ◎〔知識及び技能〕⑶ウ(ア)(イ)  【用具】鉛筆・水書用筆 | ○片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方を理解し、正しく書くことができる。 | 2 | ①片仮名の「止め」「はね」「払い」の書き方を確認する。  【点画の書き方】始筆・送筆・終筆  ②「止め」「はね」「払い」の書き方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。  ③片仮名の「折れ」「曲がり」の書き方を確認する。  【点画の書き方】「折れ」「曲がり」  ④「折れ」「曲がり」の書き方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。  ⑤自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方を理解している。  ○片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」を正しく書いている。  ［思・判・表］  ○片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。  ［主］  ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 5  ・  6 | ◯にている文字のちがうところ  p.10～11  ◎〔知識及び技能〕⑶ウ(ア)(イ)(ウ)  【用具】鉛筆 | ○字形の似ている片仮名どうしや、片仮名と漢字を比べて、違いに気づいて正しい字形で書くことができる。 | 2 | ①片仮名どうし、片仮名と漢字を比べて、似ているところと違うところを確認する。  【点画の書き方】始筆・送筆・終筆  　【字形】点画の方向  ②片仮名どうし、片仮名と漢字のそれぞれの違いに注意して書く。  ③似ている文字の、点画の方向の違いに注意して書く。  ④自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○似ている文字の違いを正しく理解している。  ○似ている文字の違いに気をつけて、正しく書いている。  ［思・判・表］  ○既習事項を生かして、似ている文字の相違点を見つけている。  ［主］  ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、似ている文字の違いに気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 6 | ◯点画の名前  p.12～14  ◎〔知識及び技能〕⑶ウ(ア)(イ)  【用具】鉛筆・水書用筆 | ○漢字の点画の名称と書き方を理解し、正しく書くことができる。 | 2 | ①漢字の点画の名称を確認する。  【点画の書き方】「横画」「縦画」「点」「折れ」「左払い」「右払い」「反り」「曲がり」  ②点画の名称と書き方を確かめながら書く。  ③漢字を見て、どの点画が使われているか考える。  ④自己評価・相互評価をする。  ⑤水書用紙と水書用筆などを使用して、点画の書き方を確認する。 | ［知・技］  ○漢字の点画の名称と書き方を理解している。  ○漢字の点画を正しく書いている。  ［思・判・表］  ○漢字の点画の書き方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。  ［主］  ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、それぞれの点画の書き方に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 6 | ▼生活に広げよう  ・れんらくちょうを書こう  p.15  ◎〔知識及び技能〕⑶ウ(ア)(イ)(ウ)  【用具】鉛筆 | ○平仮名・片仮名・漢字の書き方を理解し、連絡帳を書く場面で生かすことができる。 | 1 | ①既習の点画の書き方を確認する。  ②既習事項を生かして、連絡帳を丁寧に書く。  ③自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○既習の平仮名・片仮名・漢字の書き方を理解して書いている。  ［思・判・表］  ○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。  ［主］  ○既習事項を生かして、進んで連絡帳を書こうとしている。 |
| 7 | ◯ひつじゅんのきまり  p.16～17  ◎〔知識及び技能〕⑶ウ(ア)(イ)  【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○筆順の原則を理解し、原則に従って正しく書くことができる。 | 2 | ①筆順の原則を確認する。  【書くときの動き】筆順  筆順の大原則（「上から下」、「左から右」）、「外から中」、形が同じ部分は同じ筆順で書く。  ②筆順の原則に注意して、筆順に従って書く。  ③自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○筆順の原則を理解している。  ○筆順の原則に従って、正しく書いている。  ［思・判・表］  ○筆順の原則に注意して、ほかの文字にどのように生かすか考えている。  ［主］  ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、筆順の原則に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 9 | ◯画の長さ  p.18～19  ◎〔知識及び技能〕⑶ウ(ア)(イ)(ウ)  【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○画の長さの整え方を理解し、正しく整えて書くことができる。 | 3 | ①「横画」の長短の整え方を確認する。  【字形】点画の長さ  ②「横画」の長さの整え方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。  ③自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○画の長さの整え方を理解している。  ○画の長さに注意して、正しく書いている。  ［思・判・表］  ○画の長さに注意して、ほかの文字にどのように生かすか考えている。  ［主］  ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、画の長さに気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 9  ・  10 | ◯画のほうこうと、画と画の間  p.20～21  ◎〔知識及び技能〕⑶ウ(ア)(イ)(ウ)  【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○画の方向の整え方を理解し、正しく整えて書くことができる。  ○画の間隔の整え方を理解し、正しく整えて書くことができる。 | 3 | ①「横画」の方向の整え方を確認する。  【字形】点画の方向  ②「横画」の間隔の整え方を確認する。  【字形】点画の間隔  ③画の方向と間隔の整え方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。  ④自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○画の方向と間隔の整え方を理解している。  ○画の方向と間隔を正しく整えて書いている。  ［思・判・表］  ○画の方向と間隔の整え方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。  ［主］  ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、画の方向と間隔に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 10 | ◯「はらい」のほうこう  p.22～23  ◎〔知識及び技能〕⑶ウ(ア)(イ)(ウ)  【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○「払い」の方向を理解し、正しく整えて書くことができる。 | 2 | ①「払い」の方向の整え方を確認する。  【字形】点画の方向  ②「払い」の方向の整え方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。  ③自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○「払い」の方向を理解している。  ○「払い」の方向に注意して、正しく書いている。  ［思・判・表］  ○「払い」の方向に注意して、ほかの文字にどのように生かすか考えている。  ［主］  ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、「払い」の方向に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 11 | ◯「おれ」のほうこう  p.24  ◎〔知識及び技能〕⑶ウ(ア)(イ)(ウ)  【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○「折れ」の方向を理解し、正しく整えて書くことができる。 | 1 | ①「折れ」の方向の整え方を確認する。  【字形】点画の方向  ②「折れ」の方向の整え方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。 | ［知・技］  ○「折れ」の方向を理解している。  ○「折れ」の方向に注意して、正しく書いている。  ［思・判・表］  ○「折れ」の方向に注意して、ほかの文字にどのように生かすか考えている。  ［主］  ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、「折れ」の方向に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 11 | ▼生活に広げよう  ・かんさつカードを書こう  p.25  ◎〔知識及び技能〕⑶ウ(ア)(イ)(ウ)  【用具】鉛筆ほか  ★他教科との関連：生活 | ○既習事項を理解して、観察カードを書く場面で生かすことができる。 | 1 | ①既習事項を確認する。  ②既習事項を生かして、観察したことを、カードに丁寧に書く。  ③自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○既習事項を理解して書いている。  ［思・判・表］  ○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。  ［主］  ○既習事項を生かして、進んで観察カードを書こうとしている。 |
| 11 | ◯画のつき方と交わり方  p.26～27  ◎〔知識及び技能〕⑶ウ(ア)(イ)(ウ)  【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○画の接し方と交わり方を理解し、正しく整えて書くことができる。 | 2 | ①画が接するところ、離れているところ、交わるところを見つけ、画の接し方と交わり方を確認する。  【字形】点画の接し方、点画の交わり方  ②画の接し方と交わり方の違いを意識して、ほかの文字を筆順に従って書く。  ③自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○画の接し方と交わり方を理解している。  ○画の接し方と交わり方に注意して、正しく書いている。  ［思・判・表］  ○画の接し方と交わり方に注意して、ほかの文字にどのように生かすか考えている。  ［主］  ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、画の接し方と交わり方に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 12 | ◇文字といっしょに  ・書きぞめをしよう  p.28～29  ◎〔知識及び技能〕⑶ウ(ア)(イ)(ウ)  【用具】鉛筆・フェルトペン | ○既習事項を理解して、書き初めを丁寧に書くことができる。 | 2 | ①既習事項を確認する。  ②既習事項を生かして、丁寧に書き初めをする。  ③自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○既習事項を理解して、丁寧に書いている。  ［思・判・表］  ○既習事項をどのように生かすか考えている。  ［主］  ○既習事項を生かして、進んで書き初めを書こうとしている。 |
|  | ◇文字といっしょに  ・かん字の話  p.30  ★他教科との関連：国語 | ○漢字の成り立ちを知って、漢字を書くことへの興味を高めることができる。 | ― | ①それぞれの漢字の成り立ちを知り、書写学習に興味をもつ。 | ［主］  ○漢字の成り立ちを知ることを楽しみ、意欲的に学ぼうとしている。 |
|  | ◇文字といっしょに  ・知っているかな〈いろは歌〉  p.31  ◎〔知識及び技能〕⑶ウ(ア)(イ)(ウ)  【用具】鉛筆  ★他教科との関連：国語 | ○既習事項を生かして、丁寧に書くことができる。 | ― | ①既習事項を生かして、我が国の言語文化に関する文章を丁寧に書く。 | ［知・技］  ○既習事項を理解して、丁寧に書いている。  ［思・判・表］  ○既習事項をどのように生かすか考えている。  ［主］  ○既習事項を生かして、進んで書こうとしている。 |
| 1 | ◯文字の外形  P32～33  ◎〔知識及び技能〕⑶ウ(ア)(イ)(ウ)  【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○文字の外形を理解し、正しく整えて書くことができる。 | 2 | ①文字の外形の整え方を確認する。  【字形】外形  ②外形の整え方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。  ③自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○文字の外形を理解している。  ○文字の外形を正しく整えて書いている。  ［思・判・表］  ○文字の外形に注意して、ほかの文字にどのように生かすか考えている。  ［主］  ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、文字の外形に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 1  ・  2 | ◯文字の中心  p.34～35  ◎〔知識及び技能〕⑶ウ(ア)(イ)(ウ)  【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○文字の中心を理解し、正しく整えて書くことができる。 | 3 | ①文字の中心の整え方を見つける。  【字形】文字の中心  ②文字の中心の整え方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。  ③自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○文字の中心を理解している。  ○文字の中心を正しく整えて書いている。  ［思・判・表］  ○文字の中心に注意して、ほかの文字にどのように生かすか考えている。  ［主］  ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、文字の中心に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 2 | ▼学びを生かそう  ・二年生のまとめ  p.36～37  ◎〔知識及び技能〕⑶ウ(ア)(イ)(ウ)  【用具】鉛筆  ★他教科との関連：国語 | ○自分のめあてを持ち、既習事項を生かして、正しく整えて書くことができる。 | 2 | ①迷路をたどって、１年間の既習事項を振り返る。  ②既習事項の中から、自分のめあてを立てる。  ③自分の立てためあてに注意して書く。  ④自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○既習事項を理解している。  ○既習事項に注意して、正しく整えて書いている。  ［思・判・表］  ○既習事項をどのように生かすか考えている。  ［主］  ○自分のめあてを持って学習に取り組み、その評価を今後に生かそうとしている。 |
| 3 | ▼学びを生かそう  ・「ありがとう」をつたえよう  p.38～39  ◎〔知識及び技能〕⑶ウ(ア)(イ)(ウ)  【用具】鉛筆・フェルトペンほか  ★他教科との関連：国語、生活 | ○既習事項を理解して、文章を書く場面で生かすことができる。 | 2 | ①１年間の既習事項を確認する。  ②既習事項を生かしながら、感謝の気持ちを伝える手紙やカードなどを丁寧に書く。  ③自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○既習事項を理解している。  ○既習事項に注意して、正しく整えて書いている。  ［思・判・表］  ○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。  ［主］  ○今までの学習を生かして、進んで、感謝を伝える文章を書こうとしている。 |
|  | ◇文字といっしょに  ・どうやって作るの　えんぴつの作り方  p.45 | ○身近な筆記具である鉛筆の作り方を知ることで、書写学習への興味を高めることができる。 | ― | ①鉛筆がどうやって作られているかを知り、書写学習に興味を持つ。 | ［主］  ○身近な書写用具について知ることを楽しみ、意欲的に学ぼうとしている。 |